抜けたピール

佛、蘇さ密接な関係を「麒漑してゐる甌玉牌が果して帯介」今は9の人物さしてその出塵遊遊」所への職親によるさ服了りられる。

日本掣肘に立脚する

米國のロシア承認論

我外務當局對策を考慮

必ずしき交 渉開始を して積極的 長期抵抗 して積極的 長期抵抗 の方針は 變更せず、 の方針は 變更せず、 順少の場合も關係 列

正、原倫、張家口問題道建設は 蘇支合鎖さする 四、外蒙の獨立は認めぬが、蘇 聯の特殊機益を認む

(刊日)

# 界 木 鈴 人行發 治代審本領 人報報 遊武 村本 人制印 地畫一冊可屬公東市連大

# 首相園公訪

日満

滿洲國今

後の方針

鮑滿洲國代表の聲明

# (沙の際は列國參加 列國とは利權を以て提携する 長期抗日

# 支那の新外交政策

# を結ぶ、これ等級的協定骨 紙文不可侵 條約を締 大、東聯より軍事教官招聘 大、蘇聯より軍事教官招聘 七、東鐵回収を二十五

ソウエ

ま公開を求め 武器輸入借 交渉中 交渉中 交渉中

# 二相會見は寧ろ 政局轉換を促進

# 居掘わりさは再び次の議會に臨む 米伊或は常木園庫服長美物院有力かの如く像へちれてゐるが、への「だが、都長さして富田理財房長のかの如く像へちれてゐるが、への「だが、都長さして富田理財房長の一次の加工の食見で改善が任部長の下に外國監督の練選家権職権及び由本内相きの會見で改善統任部長の下に外國監督の練選家権職権及び由本内相きの會見で改善統任部長の下に外國監督の練選家 居据り說と政友觀測

張家口にトラツク既に百臺餘

注目さる、馮の態度

武器を支那へ

こさでなく議會終了さ共に關係に
を持わりさば既び次の議會に臨む ろ政機轉換の機能を促 委員會で査定の

月早々資施銀定の爲替管理法院東京二十四日後】準備完了不第 爲替管理部長 は二十六日午後二時より招集され ての間種々のか 大連市明年豫

廿六日の市會に

札発公司の

一大が未連の目的につき左の如く語が たが未連の目的につき左の如く語が

懸案解決

せてあたっ

向あれば、わが國る斷乎たる態度を以て對策を講ずるの際ならことである。しか外務監察は之を大勢够意見と観測せぬが、萬一米ソ兩國が我が對支對滿政策につき協同動作に出づる傾さの日本整於論に並避するもので、上院のハイラム・ジョンソン氏一派を先頭に根盤有力である。とかしル氏が之に陳聰するやは樂節で

多角的戰術

漸く深刻化

影が映ってくるのである。

でも、首相の事意を思してるといっても、首相は「もう、やめたとなった」とである。 を動の変になっている。 を動きを思いても、 なんない でも、 首相は「もう、 やめたくなった」と言相は「もう、 やめたくなった」と言れば「もう、 やめたくなった」といると、 かんない はんしょう はんしょく はんしょ

で自由にした、 沈に極東平和のためアメリカは承認によりソユートの協力を得る要あらなはアメリカのソウェート不承認及び全世界がソウェートの気解な歓迎してるものご考へ、米ソの對立が、日本の満洲におの跳躍貿易を直復すべしこの經濟論の外、左の如き政治論が附け加へられてゐる、師ちの正式整談により一九三一、エート承認をなすべしこの經濟者力さなりつゝあるが、最近アメリカ國内の承認論を見るに、その正式整談により一九三一

軍狀を奏上 岡村參謀副長

では、 な離ならて「洗塗製剤頭」さは、 な離ならて「洗塗製剤頭」さは、 小さい卓子について、深い紙索、これを動ってある。 大を喰つてある。 大を喰ってある。 大を喰ってある。 大を喰ってある。 大を吹ってある。 大を吹ってある。 大を吹ってある。 大を吹ってある。 大を吹ってある。 大を吹ってある。 大を吹ってある。 たように立ち上って、変子に言って、変子に言って、なった。 たように立ち上って、変子に言って、変子になる。 一般離れない斑さで、窓々と離る ってあった。 「私……」交子はまだ躊躇して、 好いちやないの。別に悪いこさを きう言はれるさ、女子も 火きの音樂が始まるさ、晶子が

未確を握くさ思つたら大速び。 日本型財策さらて、米風が蘇聯。あるが、彼女の悩み深さは、きうを承認する?。それで着ら日本が「耐影には懸じさせなかつた。 あ上、拒むわけに行か なかつ

十河理事上京

# 後接會總會 救護各團體合同協議

り最近の概形に格る問題さして

倉員三百出席の 新 税 全[18] 201 計 代 全[18] 201 計 [18] 101 082

市役所費 出《經常部》 上 (經常部) 上 (經常的費 上 (經濟學) 上

· 管府員馬場法豪、滿數社員等 位太郎、響師三浦七字、臺灣 位太郎、響師三浦七字、臺灣 中位太郎、響師三浦七字、臺灣 大學、大學等 中位太郎、響師三浦七字、臺灣 大學、大學等 中位太郎、大學等



# 有吉公使出發

の熱理機に勝頼の途についたへ朝九時出戦の長崎丸で多数官民なりの熱理機に勝頼の後崎丸で多数官民なり うすりい丸船客

大連人港東定のうずりい鬼主なる【門司特電二十四日盤】二十六日

である、黄色人種の剛結、東洋平和の確立。これこそである、黄色人種の剛結、東洋平和の確立、支那の民衆も眼を開いてきた、彼等も アジカス ばならり ことを 悟って ねる、武ガカス ばならり こうじょう いまが はいいのである。東洋平和の確立、これこそである、黄色人種の剛結、東洋平和の確立。これこそである、黄色人種の剛結、東洋平和の確立。これこそである、黄色人種の剛結、東洋平和の確立。これこそである。 二十四日整」駐日滿洲國代表經經濟氏は二十三 「本ない、」歐洲各國と雖も監りに は經濟恐慌のために積極的には 「本ない、「歐洲各國と雖も監りに は經濟恐慌のために積極的には 「本ない、「歐洲各國と雖も監りに 「本ない、「歐洲各國と雖も監りに 「本ない、「歐洲各國と雖も監りに 英首相歸國

今てそそ

アはアジアで團結して行か

要協議を遂げたマック英首様は二のパリで四國協力條約家について重の に勝還も直に會議甲の職議に出牒十二日午前十一時三十分ロンドン

しかとはらす、ターリケ・ダンス
でもなく、このフロリゲ・ダンス
でもなく、このフロリゲ・ダンス
でもなく、このフロリゲ・ダンス
でもなく、このフロリゲ・ダンス
た・実験がながら、然も、するく
かが派で、音楽がすぐれてぬて、でも、最極から知つて居るのだ。
かが派で、音楽がすぐれてぬて、でも、最極から知つて居るのだ。
かが派で、音楽がすぐれてぬて、でも、最極から知つて居るのだ。
かが派で、音楽がすぐれてぬて、でも、最極から知つて居るのだ。
な子自身
というでもなく、このフロリゲ・ダンス
た・実験、彼女は、婦人こしての
は、このフロリゲ・ダンス
た・実験、彼女は、婦人こしての な子に取って、生れて始めてであった。無論こんなさころへ来るのは、から五分の後にはもう。この艶繁、

自動車に乗せられた文子は、それであつたが、たど、気が繋いさを展開の館で、「帰る無理矢理に あらゆる美徳を身に具へて居るホールである。

地方長官會議

選言したか、その方法さして地方 の所能を排機し且つ診會を運動した。 たる漢葉の施行、法律案の實施等が につき協議する必要ある旨を述べ につき協議する必要ある旨を述べ に 着後の武馬安定の方案に騙し種々 十三日療験首相さの會見の際、議 ・

う何年にも、跳つたここがないの

長官會議を可及的速かに脱き跳形 この繁年来の國影様不影響にも う何年 たる繁葉の施行、滋律家の驚脆等 だこ言はれるのが、全國の各都市 「さった は、地方長官會議は大樹四月十五 たダンス・ホールやダンス教授所 おより二十日敬認の間に関かれる の数は、警察密局の酷い政権的に 大澤 に満没するダンスを ボールやダンス教授所 子は応い カラー に 大澤 大澤 に かんばらず、全人暮らい骸に上 なここ 横様である

「さうですか。では、大賞さん一

本 大澤さ品子が飾りに出るご、対 ではなってはつさらた。 ではなっていっさんだ。 ではなっていっさんだ。

來月中旬招集

▲實性職成氏〈大連新聞社長〉 閘

御厨信市氏(願東圏外事課長心得)同九時養列車で脳山棚課生心を従へ新京へ

らっ、類がゆうか汗ばま もう、類がゆうか汗ばま

暖くとも朗らかに 寒くども健やかに メンソレータムの

明日から春休み

けふは修業式

二春町派出所

先發隊

佳木斯移民團が

有望な炭田發見

伐採團が本部に報告

近く新設か

居住邦人が運動開始

さになつたが一行は柴田園土館」であるが一階は農出せる石炭層を「有窯濃されてある」の四十年後七時東京養新京に赴く「俊深証を組織し山林地方に入込ん」たが運搬戦・機関あるものと観覧を徒三百名の先襲院で名は「皮脈はほ下感激が料切出しのため」を語では鹿で戦門修研究に響手移民の農業指導を目飾さする鏡

【ハルビン二十四日餐】佳木斯移「養見、直に本部に報告し来たの東京廿三日餐】満洲に於ける鬼

首都新京の實情を

遺憾なく紹介

春の視察團の殺到を前にして

關係方面の準備進む

マラソンの前哨戦

断郊競

技

大連運動場から鏡ケ池往復

(日曜土)

瀬裏攻の八木房之助助教授

木助教授談

B

節を裏攻してゐる谷口吉彦

銘仙を着て總會



# 學界の打診に開く 京大の三助教授が揃つて来満 は

又默崇術意味の新進八木原之肺跡観響、それに女子職業院網に対航さ立ち、自蘇車連、都港駿部の跡教授谷口吉彦氏「献業極港撃の立場から滿洲圏の軌きを見る……」ため め着のシーズンに続けて悪邪の極峻者が膨緩水連する。二十四日入港の香港鬼は京大經濟學的立場から、あらゆる角度より日滿統緋の動き力を実地に目で見、耳で降くた 立んさしてゐる、春陽うらゝ、まづ學界の土によつて滿洲の冬にさよならだ(寫真石投資に満たされて來滿、日滿經濟プロックが如何にして可能であるかな實證的に研究學手さして鮮頭に現れた夫人によつて有名さなつた蝶川虎二助教授、孰れもそれと)

## 八を語る 握る

水産經濟の視察に來た **蜷川虎二助教授** 

三原山から死神退散の請願

商業經濟の 見地から

谷白助教授談

「東京二十三日登」二十三日の衆 は伊豆大島元村の準柳養之助氏の は伊豆大島元村の準柳養之助氏の なでつったが会成館に都多したがそれ してでつったが会成館に都の出ての他 でしてからしので歌師要に大のの他 でしてからしい時間神野などの に情報流流し答称も質疑しなりの。 これてゐたが会成館に都の日さし これてゐたが会成館に都の日さし

陸根を訪問同十時明治練宮に参拝一の上出費する

満洲代表選手を

神宮競技に派遣

滿洲射撃界が大躍進

三人や四人の迷 持つ家庭では至 た木札を附ける

東た版響がおり、これでは、 東を版響する為の二十三日年後四 に各役員出職の下に八年度小統制 に各役員出職の下に八年度小統制 に各役員出職の下に八年度小統制 にな年九月までには満州射戦協 にな年九月までには満州射戦協 にな年九月までには満州射戦協 にな年九月までには満州射戦協 にな年九月までには満州射戦協 になるが女學生にも動誘 になるが女學生にも動誘 になるが女學生にも動誘 になるが女学生にも動誘

名滿電か で採用

滿鐵連

新役員 総果新役威左の如く一であったが二十四日



生れたオツの〇〇



# 熱河の傷病兵故山

士を送る

さ感激の埠頭

化面を覆り

滿蒙毛織

春向服地特價大賣出

賽錢泥棒

新柄紳士用合服地

碼

五九十十

銭より

期間三月卅一日日

至上

七日間

各

合オーバ地

同

五

**連市信濃町浪速町電停** 

滿毛百貨店大連分店

物雜貨

お

母さん心得帳

幼兒には名礼を忘れずに

▲ 一本直接(地方部两工課) 山本直接(地方部两工課) 山本直接(地方部两工課)

行掛けの駄賃 塞のオ





特選

品

新製鼈甲品陳列…… 二幸化粧料宣傳賣出 ◆二十五日より 倫 大◆

糸は ◆二十六日より二十八日まで… 6

谜[

新着既製脊廣服と陳列……二





選ぶか大なる興味あるレースで

けふの小洋が

理絡 なぬり形魚湯州事情

が参り、電話五五五四。四七二三番 ドガンツーリストビユーロー が、液・連話四七二。三四へ二番 大 談大連出張所 動附

れる御日

連續領心養橋通

回概念女 粒の 某 注·意· 粗製欺瞞藥あり 日露丸と御指定願

知つた時に、豆に安心しきつてるをがかったの血の豚の中でさへ、

香港四段 全極口 養雄 香港四段 全極口 養雄

裁力雄

の心様さば すつかり 變つてあるおさんにしたさころで、年刻前かいて、ハッさ日をつぐんだ。

定選詢をジイアに期奉新

〇一ノ三中町和昭福吉住阪大 商 松 芳 下 山 舗

滿 ME (日曜土) 報 日 着順の上へぐつたりくづかれた 着順の上へぐつたりくづかれた というが、目を輝かしておざん

階下三十錢!

映

ぼ

江 戶

太







年40~2000年

品専門の輸入卸元 オリエンタ 名製造會社 てなら定評ある

産前産後に欠かされぬり

 大連 浪速町

 電 話

 三 バ ハ し

 六 し 三 一

卒入 業學 記御念祝 13 は



(25)

(可認物便單環三獎)

って、著い者をよんで、おれのって、著い者をよんで、おれの

「叫ぶアジア」撮影のため目下本 を取り下さい」「天文學者」漫選 が、渡し物は寸態「何自由に であが、渡し物は寸態「何自由に であるが、渡し物は寸態「何自由に であるが、渡し物は寸態「何自由に 島耕二ら實演

日五十二月三年八和昭

らの五郎兵衛だつたが、機様。が続きれ均今日さなつて見るさ、、、その事か、無理もない不、を誰かに残らてもちひたいささへ、い、その事か、無理もない不、を誰かに残らてもちひたいささへ、いのです」

當ホールのみが持つ獨得な味…… (特設) 三 核 バン ビ 女紅場側区編曲

純國粹情緒

元祿花見踊

催開

二十五日、二十六日兩夜共六時より満洲野の花に魁て



【東京二十四日費】創立準備中の (希望者多数に就き譲定額を制 ・ 満郷関係 二十五萬株(豫定 一般公業關係 十萬株 ・ 満郷関係 二十五萬株(豫定 一歳七千) ・ 満郷関係 二十五萬株(豫定 二歳七千)

創立總會は五月末開催

たの知言説が概念 てこの管理性 ででいると、また方

蘇聯側誠意なく

るの状態にあった、耐して昨年末

を見る時は東支の財産を少なくす

別の頭は、笠・ 鑑養された不換紙幣熱河獎 業銀行の後始末について の範芝な級所する見地より ・ こめることになった、 電話」滅洲國財政部では熱 朝陽、赤峰の四支行に

尖銳化の大豆西行問題

森田稅務司長が專ら奔走

問題にならぬ

會社改組案

株式割當を決定満洲化學工業

熱河興銀券を

國幣と兌換

兌換率は百元對二圓

有効期間は向ムーケ

連鎖商店の難局打開策

遞信省の態度は

全くの繼子扱ひ

川村常務憤慨して語る

等が大汽が補助金もなくして選等が大汽が補助金もなくして選出情襲が行慣みの狀態に とたものさ信ぜられる、然しながら質船情襲が行慣みの狀態に がら質船情襲が行慣みの状態に

の継續を悪信省に申職してゐるので、在熟日本定班輸路に點すてことになつてゐる、しかし大連完職さしては三月末特許期間

商工都市出現を目差し

土地出願者殺到

民警がよび合併の編集が必ず現在 高見が出、可否職論に岐れたが、 無問題は多年の観案だけに種々の の 分の見速しが付かねため結局、交場所に職像せらめず、郷日しよくなるこいふこごについし、製政政府時代は日本人は継

計畫に頓挫を見んか

古船購入問題の一波動

第の概要を悪信衛に电話してゐるので、右塞日本定動航路に對する遷信衛の正式意思表示も自然 り新深、潔潔、鍵基間に定脚網路の開設を企圖し、その就解として北日本海艦會融をして教費 こして二月末遷信省に电話をしたが、悪信衛では既に命令網路として北日本海艦會融をして教費 こして二月末遷信省に电話をしたが、悪信衛では既に命令網路として北日本海艦會融をして教費 では、鍵基間にな年度より新線を設定せしめ、なほ地方命令網路として北日本海艦會融をして教費 では、大連汽船の定算線はこれを誤可せざるに意見一致し、近く同誌に向つて不評可の適告を 開係上、大連汽船の定算線はこれを誤可せざるに意見一致し、近く同誌に向つて不評可の適告を 関係上、大連汽船の定算線はこれを誤可せざるに意見一致し、近く同誌に向つて不評可の適告を 関係上、大連汽船が日前海運輸級に機械的に報出すべくその第一歩さして五月一日よ

代表者 るので、今度現職維持に決したこれで、決 減を見るに至らすやさ信ぜられてい、決 ねる 大に働らく 大汽の裏日本開拓 不許可に意見一致

期間到來の藏券 處置方を決定

二億現金償還、一億借替

株式割當は 惧 重 考慮

一十五萬株所繳、五萬株全國聯

神画画

職日より戦略するこさにも、おける無いでいるからを引の意見一致をなれる異の意見一致をないるを異である。 米穀證券

これったのはめているうなこさだが、こ

定期喰

高

豆油 四三七五草高粱 一〇三三軍

30米の米数職労は無 四平街小賣

五日現在の小質物質

況(共四日) へまた多少の ・ 本また多少の

幣開原欄(現物 21.3) 「関係) 大現物 21.3 「現物 21.3 「現物 21.3 「日本 21.1 「日本

十十六五

日日

日

間

奥地 相 場

◆現物前場(単位終) ・時 100/10 1/2/22 1/2/03 十 時 100/10 1/2/22 1/2/03 十 日 1/2/20 1/2/03 十 日 1/2/20 1/2/03

大阪期米

· 番六六七四爾· 的河 城市 達大

展を設

般四

1本もし空襲を 受くれば 受くれば

些二染

曾議で決定の諸案 近く新京で發表 をすっじて維持してあるものが多く 一等っじて維持してあるものが多く 収引所案は現狀維持

遼河解氷

フイ號初航

五品市

立會改善

左のごこきもの、ごこして信ぜらい、その後の事性の進展や取るが、その後の事性の進展や取べ来消刑が、 後来清州が

更改問題

一、大連取引所の民

て来てゐるの

營と合併問題

四日入港香港地で来連「大標意先」は簡誉養行するに決定し、三十日「週中に養行の模様である「無物會配工場是期間利一氏は二十」が、うち二十五日期間到来の一億については大體前回と同條件でも事帳部分品の製造その他各種輸繳。【東京二十四日愛】月末まで償還、期間の二億側に現金償還に決した事帳部分品の製造その他各種輸繳。【東京二十四日愛】月末まで償還、期間の二億側に現金償還に決した事帳部分品の製造その他各種輸繳。

東京二十四日教』 満洲化學工業 ・ 本事業は今後創立される各工業 ・ 本事業は今後創立される各工業 ・ 本事業は今後創立される各工業 ・ 本書線した、殊に新京在住の滿 ・ 本書線した、殊に新京在住の滿 ・ た事で喜んでゐる ・ た事で喜んでゐる

在日本ソウエート運動代表部大連 大使館から同大連支部の繋行する 契約書、監書及びその他の融用器 に第二署名をなすの権限を集へられた旨全国統領での権限を集へ ビ蘇聯書記 署名權限附與 借替に出

七百十圓乃至七百二十圓、五つ香 連市内の電話相場は最近四つ番 大連電話相場

低素を示さき

大商 市 特

豆買 强

。 河中

者が出してるさい。

セメント聯合會臨時總會は二十三

洋灰生産

富力・なり 大巾保

Crt-M OR

小聢

きさぬ/ぎる。 融始の業信果 報日 査調

式e畑用 回大勢的には押 8

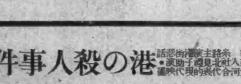
株(保合)

常

『絕對番

天狗編

世二日 リの 京作新切





米國へ第一歩を踏み出す前に

松岡全權力强人

# 日米の戦ふべき

# 日支直接交渉よりも 漏支の親善策が急務

我政府部内に意見擡頭

國運進展に努めよ

松平頼壽伯久し振りの熱辯 を が何處にあるか、本法に表示さ が何處にあるか、本法に表示さ が何處にあるか、本法に表示さ 貴族院本會議四世

一、輸出組織物取締法中改正法律 を説明も、版本多之助氏されに養 成も保護の結果大多數を以て修正 家施り可決喩定

議事進行停頓し

國民同盟掉尾の勇?を揮ふ

衆議院本會議 (廿四日)

歌の結果。「二一票数三五票で翻譯 が書だ」と球皮類に影戦する、投 であり最も危険なるものは左傾、第二十五 であり最も危険なるものは左傾、第二十五 であり最も危険なるものは左傾、第二十五 であり最も危険なるものは左傾、第二十五

沿岸就航禁

止など

坐礁した買船

問

題

單なる鬼面の示威

田局逓信を嗤ふ

ナチスは昂然

ヒットレリズム勝利の彼岸へ

獨裁强權政治實現

東京二十四日登』衆議院の智師

内院協議會

醫師法改正案

兩院協議會へ

東の際側的多数で一線に国倉道地、七十二名の新地震を外信機域は二十三日の国倉に上程表決の結果、四四、東京に観点に二十三日の国倉に上程表決の結果、四四、東京に関する。 アーベン内閣に

小國側反對態

お木正吾君(画問) 疑獄事 投票の結果、二五三點三四で指切 二、探察は 1 所に坐してゐるこさの方がざれ 章君(画問) 無気離してお誰に入る、風見 の側間の都に連坐したやうな者がこの籤 り動画成立して討論に入る、風見 の側間の都に連坐したやうな者がこの籤 り動画成立して討論に入る、風見 の側間の都に連坐したやうな者がこの籤 り動画成立して討論に入る、風見 の側間の都に連坐したやうな者がこの籤 り動画成立して討論に入る、風見 の側間の都に連坐したやうな者がごれ 章君(画用) を表述されている。

1 (南京二十三日登)上村領事は維力政政権が指導的政策を共し居るを 指摘し蔵重抗器を提出した

積極抗日戦も

全支平定も不可能

大野望を懐く蔣へ

全國に第一聲

ないので取

放送計畫着々成る

排日運動に抗議

上村領事、南京當局に

ロ手段による

哈會を通過の 一年度豫算 **總額廿三億九百餘萬** 

記會計講座

自自

、號 (本日發賣

日

の既に積極的にこれ

大学 10 大学 1

王道國家を護る

兵士を州内に募る

國軍の中堅を養成

差別を撤して 鮮農の救濟施設

舊制を徹底整理し

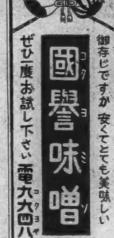
郵便貯金復活

滿洲國政府準備着

委員會の秘密會成功

満鐵の増資案

可 山本洋行







現泊學園生徒

露支事情の

研究講習會開く

叙勳七等經端實章(各)

南洋委任統治

我國の覺悟

羞恥心を清算

禹能選手も立ち續けに一目の能

が昭和の新女性

職業戰線高















「瞼の母に含ふの記」谷崎龍子の「敷かれる」というではもとより寫真も面白く、また長谷川伸氏のは文はもとより寫真も面白く、また長谷川伸氏のは文はもとより裏真も面白く、また長谷川伸氏のは文はもとよりを出る。

瞼の母に含ふの記』谷崎龍子の

整の治療

今すぐね近くの本屋へかけつけてその

**僅本** 

















李を運じて実曜しい歌波 まで盛んに喧闹され、四 まで盛んに喧闹され、四 説明の最も電影ある遊覧の大楽高橋孝太郎博

春麗らかにそろ 種子を下す前には充分灌水を

栖は鼠が中心 ※

夢を見つがけ る人妻の悩み

は成長に従って舵火運転な野難にしあります。 一段が遅れる場合には磨熱した満格。 一般が遅れる場合には磨熱した満格。 一般に接続に続く、一般に満洲の土とを満さての上に細く飾つた土を を持させるさ大要苗や芽を害しますか。 を持させるさ大要苗や芽を害しますか。 を持させるさ大要苗や芽を害しますか。 を持させるさ大要苗や芽を害しますか。 を持させることが出来ません。 をおきるさ大要苗や芽を害しますか。 をおきるまで新聞紙を整って置き をおきるまで新聞紙を整って置き なせるさ大要苗や芽を害しますか。 にで繋が前にひごい乾燥に脅いましたければよい結果を見られませ をたいままでお出来ません。 にで繋が前にひごい乾燥に含いましたければよい結果を見られませ かの場合は部床以上に乾燥に注意 なるは、一般に表情に変が、 なるまで新聞紙を整って置き なっていまい。 こればればよい結果を見られませ ないは、 ないばればよい結果を見られませ ないは、 ないる。 ないましたが、 ないる。 ないは、 ないは、 ないまない。 ないは、 ないる。 ないまない。 ないる。 ないる。

りである――《著者校田僚士はしがきの一郎》 中にも、腰む人の裏面目な気度を失はしめないやら、他会 一時にも、腰む人の裏面目な気度を失はしめないやら、他会 一時にも、腰む人の裏面目な気度を失ばしめないやら、他会 一時にも、腰む人の裏面目な気度を失ばしめないやら、他会 をで、銀の前に音波するも顔の赤くなることのないやら、他会 がであったりしたのに後にず思って、私は少く をで、銀の前に音波するも顔の赤くなることのないやら、他会 はいから、他会 のである――《著者校田僚士はしがきの一郎》





耳炎で

叶はぬ

面倒な、理論や消臭がなくても出来る素人等に関す者いてもこの美容の大物観をご覧いると流行のカール」からした一刻選りの記事もしてなりたい方、春の季節を苦草のやらり、美しくなりたい方、春の季節を苦草のやりい美味が、理論や増加している。

さんの質や市大郎氏の源の手部「御神火に観を捧ぐ」等の記事を提供きで獲いたますのやらな不思議な經驗を得た霊田昌子前時記を責代子記を加へた「少安達と死の座談會」があり、また彼女を死の火口が野家を加へた「少安達と死の座談會」があり、また彼女を死の火口を明から、一般時の怪」の外、松本責代子さんの親友たち、恩師・慶でなければなりません。 するが女たちを悪でいつばいに常弦でしめてゐる大





のモヒ工場

來上つたモルヒネ汁 熱河避暑山莊内で

家人を駆除し家は惨攘ふべして大常一千元外銃器を提供せざれ

に直り線像北方の流像本郷を完全

金山好匪團

活動を始む

匪賊から一變したか 撫順附近に出没頻

逃走専らの田英軍

警備隊の追及いより

か激し

末路いまや全く近し

日

警備策協議

各機關聯合萬全を期す

遼河の解氷近く

の方から色々の同情 又苦歌丘で概し書は恋れつぼい話 さつられ如何にもまこさしやかに に同情を求め金を得てゐるもの

「安東」 ※州国々道塾診局の記決 「安東」 ※州国々道塾診局の記決 むつかし 安東大孤山莊河城子疃間 自動車道路の計畫

自然に出来た馬車道に自動

今年中には

# して圖太い

(四)

# これも滿洲景氣の一餘波か

奉天署で嚴重に取締

Ξ

【■天】「私は水い間溝洲に住ん」うぞ取つて下さい」と悲観する… 期する事とした、但し右の如き取りですから内地にでも除って際して、が取締りを行つてあるが彼等のさとして現在第一區分層において際いっかすあららことも出来ません。 が取締りを行つてあるが彼等のさとして現在第一區分層において際いっかすることも出来ません。 が取締りを行つてあるが彼等のさとして現在第一區分層において際いってすることも出来ません。 が取締りを行つてあるが彼等のさとして現在第一區分層において際いったで言つては満洲で死ねるば、うした反應には常時者の 日田庄繁間の水上駅線を撤促し田シまへで居つては満洲で死ねるば、方した反應には常時者の 日田庄繁間の水上駅線を運搬して総般実者ですから内地にでも除って際いって下さい」と悲観する… 期する事とした、但し右の如き取りですから内地にでも除って際

「機関」三陸地方製売製掘金さして新華子居留民会に居間民一同より金五十国を集め二十三日機会者

化け込む馬賊

八に

手柄を擧げた

民會

「「田本族イヤラ要素したが要女は不」 五族の満洲人が主人の使ひださ様」 して留守層の要女に難し南具さ継 して留守層の要女に難し南具さ継

新臺子居留

主人らを縛して 四千圓を强奪

急報遅く空しく强盗を逃して 地團駄踏む鞍山署

毛生の方に

たが今回長脚の命を受けれたが今回長脚の命を受けれ

外部に見張りの二名で共に一塚天生れ金費山は子 泉田、山本南等都補は増負 六時五分鞍山署に通報とた 犯行に先だち電話線を切断 戦中川和事一行に観道北で逮捕さ に潜入したさころを割行中の撫願 に潜入したさころを割行中の撫願

現から布職な数さて店の全種の中 に取る多彩紙を整して店の全種の中 に取るのでは、当人就でな 居合せた四名の広島で当人就でな 居合せた四名の広島で当人就でな

六名組强盜

満鐵線を横斷し

古娘子衆党所員巡野竹交郎(こ)方一「無明神生町四丁目一ノニ

に持ち逃げ

天下御免

数は最も概念性を帯びて唇るかれ斯くさ記載したものである。

阿片卸賣值段

公主嶺の公費

裝飾

の一種はこれに合流すべく腰に満一幅縦は一切不明で、内に使入せりを除き二十二日根法・各属の電話線は表明に使入せりを除き二十二日根法・各属の電話線は表現の場所を表現した。

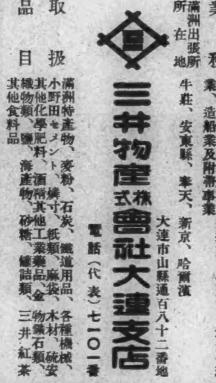
三陸地方へ

あつまる同様

美談の數々

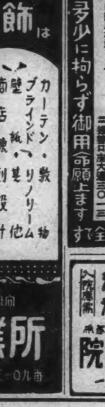
トく サシコミ外用薬





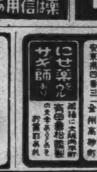








伊勢町



**孫館水は毎日採館** 









吉林教育費

天照園移民實習生

感希望の新天地へ

來る廿八日金州出

板挾みの地方事務所

(古林) 野根小男校の教育委託費

て断光派に至らんさする天照風郡 | 多大の希望を抱いて動々目的地に「中、 塔へ職い苦痛に打ち脚つ | 午前七時五十分金州豊の列車にて | 民質智所生三十名は來る二十八日

留學警察官

華々しく鹿島立

御下賜

本は二十三日午前 い、既楽響を加って東い、既楽響を加って東京に、勝寛能に観然たる日本の響を加って東い・既楽響を加って東がしい、既楽響系の風極を加って東い・、既楽響系の風極を加って東い・、既楽響系の風極を加って東い・、既楽響系の風極を加って東い・、既楽響系の風極を加って東い・、既楽響系の風極を加って東い・、大を編立 やしかの 第と場け来歌時浦州園のであった。

貸付條件を緩和

可及的廣い範圍に

融通低資の貸付方針

八を呼ぶ策 鐵路局や民會なごが

・知くて土地有力者で図め 一で大いに衝響されて居る

断じて閉鎖せぬ 傳へられる廢止説に関して 安武所長代理語る

前十時から同校職

レコード

れの日が近づき

學する晴

**本業式** 本業式

| 大石橋|| 大石

小さな感激

大石橋幼稚園滿

春・解氷とゝもに

發展を目ざす吉林

諸機關の移轉請願か

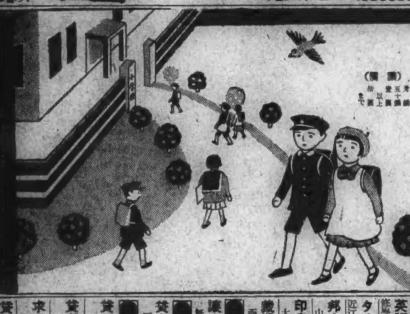
內政部所管

初乘旅行者

安東旅行俱

取締規則改正せられ

四月第一回の檢查



から宇津牧命丸

たの愛見の

あま酒

帆・天帆高級御化粧紙は

紙店電五四三九番

是話三九七

川齒科





剤血止力强製器臓の澤藤 血

可能進版大 店 商 吉 友 澤 職 社会式徒



\*店

女學生の方々も・外で働らく御婦人も・

髪は手まめに洗ひませう

\$ 35 髪を美し いな小凾入シャンプー 0 とさ ら春は埃 y する が て

す

家事に動しむ奥様方も

0

號友主 定四婦 價月之

手藝品展覧會(各滿鐵家事講習所主催で) 瀬

を設支配に護達したので井上助線後は碧波響館に内船谷所存配質展記官を接続、右の義総金を手交した、丹存監管は本紙要談番「東京特 電二十三日發」 東北地方、北海道の一部東級衝災民に對する第二回警視金三千回は二十三日縣総銀行を作て

羽長官厚く感謝

# 玄關 の混雑解消

**大連驛改造設計着手** 

り不能のアジピラな野見されその中より不能のアジピラな野見されその中よ 不穩ビラ

お目見得する

学校體育の

5日普及の會

齋藤教授を講師に

廿六日から奉天で

仰乘船を得た

香港丸の榮に

解長事務長の謹話東伏見宮大妃殿下に

無罪になつたり有罪になつたり

麻醉劑取締建反事件

捐者芳名 東海岸大震災

是西田內科

**五月二十一日 旅**火北道路路吸 滿鐵遠足部

椅

豪華版 春に競ふ

旅客へA級サ

連艦職上の職権版を管理せんさす

なって、 さらた大阪機能に内地大連機能に がデザインも書き下されこの版 要に厳秀船を配す事さなり既にこれがデザインも書き下されこの版 でもの質繁よりは実質へをモットー 但しこれは一

大連支店の話 みだ

し大阪側船大連支店では の間

全浦鮮極東軟式野球大會工工澤のアメリカンボー 川東州大會 各地野球大會 庭

球

品

球



陸上競技用品 御氣に召す 動具

大阪商船更に二隻を増配して

界各國

酒

被

食料

品

店

製機相影構 杉箱 桐箱 下次 市 二 市 加 后

Joy of the Taste

京本場の

普普

四二一二

各地名産

品味調ねらなはてくな

青大將が資本

是更大合宿所 週

うの

10セン

幸田武雄

◆第4卷12號出來◆

滿洲評論社 醬二六六

のうなぎ何で

アメリカン

ゼントルマン

通洋

服店

弱

球用

人紅×羽モ本 網 レニス 小白ス重り 物

日廿分四

大連鴻業公

決まる 事業豫定日

= 四 495 101 537 149 360 964 138 888 高 又は 茶年 半打

個組

322 693 又は 又はポ 金廿圓 ラ 上金 也 9 引制 ブ セ ル ツ 音 五客

一枚

個

●すて通共組各てペす上以●



り當籤番號を决定いたしました 依つて景景お立會の下に嚴正抽籤の結果 上記の通規定に從へ 廣告取火社員及び所轄警察署 御禮申上げます。終りに應真 品はし、二、三等とも 送附申し上げます 民店各位の熱烈なる御援助に對し 厚岬諒承を願ひます。終りに應募者並び規定により襲に御送附漕の郵便切手 御希望の品拜承の上御 のガ

台

組

美味しくて效果第

消化吸收最も良く

變質腐敗の憂い無き

エンB等を加へて、小見も悦ぶ菓子狀としたで其有效成分を軟米薬用肝油の質に五十倍にで其有效成分を軟米薬用肝油の質に五十倍にでは有效成分を軟米薬用肝油の質に五十倍に 

C.50

帝國發明協會 化學工業博覽會 化學工業博覽會

肝油研究の權威薬學博士 河合礁太郎氏の世界的業績 と情と他の發育を司るひとを特に

大連市記録[1] 11日第編書

治療開始

世界的の榮養科

|東条位用三面以下よろと、東京市内は「悪にても配表)| |最寄に品切れ等の額は下舗より直送する| |薬店。和洋 酒食料品店、雑貨店にあり

日本で發明せられた

アンデ ブルガ 命 重新

のミッワ石 総本舗 - 本質が 東京・耐煙日本語 應花(香號 ○○三○四四六 家語7代表 ○○三○四四六 本稱陽光澤町)振夢東京七二 本稱陽光澤町)振夢東京七二 本稱陽光澤町)振夢東京七二

者等に對し直接醫療方法の傍ら榮養補給を目的とするに最も適當且理想的です骨病、百日咳、腸病質、殊に肋膜炎、肺尖加答兒、其他結核性素質を有する病弱退、老妻、神經衰弱、其他特に榮養不良に基く夜官等の眼病、及佝僂病の如き美味佳香の小球形の菓子狀にして一般榮養不良、處弱、貧血、産前後、精力減 五十颗人工十级

は極耐武明書に記載用量、用法、其他の詳細

進口」する文献説明書及び見本品

藤利兵衛裔 店

優な様だいとささいつたやうな光

こあれば、わが國も斷乎たる態度を以て對策を講ずるの然なしさが然態態はこを大紫膽意見て懸渺口が、萬一米ソ兩國が我が對支對滿政の日本學問論に立瞬でるもので、上院のハイラム・ションソン氏一派を光頭に概能有力で

つき協同動作に出づる傾しからい氏がこに嫌にするやは冷間で

協力を得る要あり

多角的戰術

を自由にした、故に極東平和のためアメリカは承認による獣震質験を回復すべしこの經濟論の外、左の如き政治論が附け加へられる獣震質験を回復すべしこの經濟論の外、左の如き政治論が附け加へられる獣震質験を回復すべしこの經濟者力になりつ、あるが、最近アメリカ側や

小國のロシア

我外務當局對第

を考慮

での正式水製により一九三一年来遊波

# (渉の際は列國参加 **列國とは利權を以て提携する** H

# 支那の新外交政策

# 年延長 ・東鐵回收を二十六、蘇聯より軍事教官招 ・大、蘇聯より軍事教官招

支那におけるダンビー機会を認む

# 十二五

## 三相會見は寧ろ 政局轉換を促進 東り最近の職技術に格る問題さらて野親されてゐる

居据り說と政友觀測 

張家口にトラツク既に百臺餘

注目さる、馮の態度

武器を支那へ

所は時局に鑑み居振わりに決した機能相及び山本内相さの會見で政権を相及び山本内相さの會見で政 く議會終了さ共に過ぎて共に過

な一個である場ででありましておか、一个は?の人物でしてその出 「本天電話」北支軍政権の移動な一様の一級と合流するか、ご

は注視の的さなつてゐる

岡村參謀副長

委員會で査定の 大連市明年發 廿六日の市會に

札発公司の 懸案解決

たが来連の目的につき左の如り語 ▲ 十河信二氏(済殿理場) 同上 ▲ イルシイ・ワイテング氏 (ユービー記者) 周上 ・ 日本石油計画 同上 ▲內海治一氏(滿纖經濟調瓷會員)

那彼女を繋がせるに 足りなかつ

しすでに難つたここがあるらしく

一無能れない巧さで、蛇々ご飾る

のグランド・ホテルのクリスマス

つきア、今度

な顔をして「決議実施重」さは、 職態だが地はソッと後押しなする な薬職者な、幾つも知つてるたかを疾院の球所観光決選案、名はは、これよりともつこ上品で影響

ていたときませうか も知つてるたか 「さア、今度は女子さんの書よ」 ・一つ離らせ 隆中やうに言つた。 はずやうに言つた。

十河理事上京

か 動電には悪じませなかつた。 「でも離か、知った人、るないの

私。とばらく無見させていたどき 好いちやないの。別に悪いここを してるんぢやあるまいら」 の上、担むわけに行かなかっ

米蘇を養くさ思った。それ

さ思つたら大連ひ。

て、米崎が熊職

見られてゐるが、出表

展版題の**戦い**なに がは不許可の方

# 本学の平和は、開結は、今こそそ本学の平和は、開結は、今こそそ本学の平和は、開結は、今こそそれであるか、それは次の方法に書きるご思はすべきであるか、それは次の方法に書きるご思はすべきであるか、天亞細亞主義のために大いに勢力を関係を関すてきた、彼等しアジ、支那の民衆も眼を開いてきた、彼等しアジスをの民衆も眼を開いてきた、彼等しアジスを入るの、対別して後へばい、のである、東洋平和同じだ、切開して継へばい、のである、東洋平和同じだ、切開して継へばい、のである、東洋平和の確立、これこそ 後接會總會

救護各團體合同協議 雅敢入 [18] 交先 交(8) 計 代。11章 [15] 交给 計 代。11章 [15] (8) 計入金債

大連へ潘康定のうずりい丸主なる

の熱理機に締頼の途についた うすりい丸船客

有吉公使出發

地方長官會議

信料の説解を求めたるが、そのこでもという。 につきとはできる必要のる旨を述べ につきとはする必要のる旨を述べ につきという。 にしていると、 につきと、 につきと、 にしていると、 にしている。 にして。 信を披露し且つ議会を通過

地方是官館職は大機四月十五 たダンス・オールやダンス教授所 子は経代の誤解を求めたるが、その この二三年間に、東京市内に出來 子は経経の誤解を求めたるが、その この二三年間に、東京市内に出來 子は経済の議解を求めたるが、その この二三年間に、東京市内に出來 大澤 でに満浸するダンス熱である。彼際では、これだけは不影無知らずです。

てすかっでは、大質さん一

英首相歸國

來月中旬招集

ち、踊つたこさがないの

氏(黑龍江省改業職長)周



寒くさも健やかに 暖くさも朗らかに メンソレーダムの

銘仙を着て總會

海典攻の八木房之助助教授

二春町派出所 近く新設か

佳木斯移民團が

有望な炭田發見

伐採團が本部に報告

居住邦人が運動開始 こさになつたが一行は集田園土館 であるが一般は廃出せる石炭層を「有家蔵されてある 世四日午後七時東京藝斯京に起く 世深被な組織と山林地方に入込ん たが埋まし 観響の 悪寒指導を目的さする館 ピルビンニー四日登 佳木斯林 登見、道にを都に観告で見たの悪寒指導を目的さする館 ピルビンニー四日登 佳木斯林 登見、道にを都に観告の悪寒指導を目的さする館

首都新京の實情を

明日から春

事情に独しては一郎は悪寒者の寒 ける農寒裏の大狭水を引受ける家家もなくであらうがこの農寒観響 館の設備と現在の所属た心細い味があるとなってあらうがこの農寒観音の寒 ける農寒裏の大狭水を引受ける家

三原山から死神退散の請願

きのふ衆議院で採握さる

水産経済の視察に來た

を語る

ル握る

滿洲代表選手を

神宮競技に派遣

滿洲射撃界が大躍進

般の注意を記し

名滿電で 採十六

春の視察国の殺到を前にして

關係方面の準備進む

へ連運動場から鏡ケ池往復 予

南東の風(曇り)

和 東 東 東 天 市 十 二 時

卅一日朝

る八御日 經吾平椿油 かどや油舗 さ感激の埠頭 上を送る

熟河の傷病兵故山へ

學界の打診に開く

は

京大の三助教授が揃つて来温

制の動き方な変地に目で見、耳で聞くた

賽錢泥棒

自稱神道

さん心得帳

幼兒には名札を忘れずに

行掛けの駄賃

普及罐 られて内地に勝る事さなっ

五日がり

中中中中中中中中

ンの前哨戦

連發若松へ直航します、九州へ行谷判船の北陸定期優秀船日本海丸の北陸定期優秀船日本海丸

大連出張所

いが自由などもなりません

化面を覆り

滿蒙毛織 0

春向服地特價上 新柄紳士用合服地 期間三月月 ## 日日 碼 TO 6

合オーバ地 特價奉 同 五九 + 窡

大趣市信濃町浪速町電停前 滿毛百貨店大連分店

該

◆二十六日より二十八日まで… 選 ◆二十五日よ 品品

新着既製肴廣服 新製鼈甲品陳列…… 一幸化粧料宣傳賣出

に陳列……ニ

艺 文 二一 一文文一一一 枚反反物物枚反反 

羞恥心を清算

禺能選手も立ち續けに一目の能

りが昭和の新女性

職業戰線

(二)

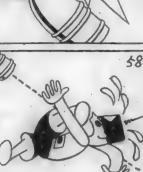
好況の大連商業學堂

シボンデントウま



人學志望者殺到











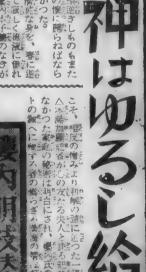






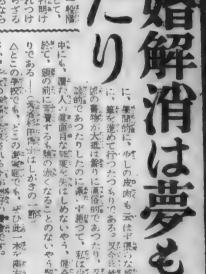












りこの」の使命です。

を活動を建自しませう。これで

蘇へる健康





さんの實交市太郎氏の漢の手記「御職火に気を擽ぐ」等の記事を提供する。
本で纏いたますのやうな不思議な經驗を得た驚田書子談問語っ貴代子野家を加へた「少女達と死の海談會」があり。また彼女を死の火口野家を加へた「少女達と死の海談會」があり。また彼女を死の火口野家をはければなりません。



春麗らかにそろう

(可認物便認過三集)

種子を下す前には充分灌水を 素人園藝家の心得

日五十二月三年八和昭

色は鼠が中心

柄は格子で

の結核症の人間の人 消化不良。人 産前産後の人 發育不良兒 病中病後の 神經衰弱の人 老妻の人際病質の人 乳

を選じて素晴しい素茂 手を選じて素晴しい素茂

りこの」の誇りです。

豊かな滋養!

人のために、西條八十氏が監修された「大東京人のために、西條八十氏が監修された「大東京人の外地方の女學校を出て、初の東京見物をし

た「大東京案内」

食料品店にあり

過食過飲

のモ

ヒ工場

水上つたモルヒネ汁■熱河避暑山莊内で】 (上)瓶の中に入つた鹽酸モルヒネ(下)出

郵便局員

(無国) 無職附近には昨今獲組か 美茂等の満入銀金家には救國委男の養入銀廠が入り込んで陰謀強盗 軍東路第二隊最級安室、梅田、占の養入銀廠が入り込んで陰謀強盗 軍東路第二隊最級安室、梅田、占の大銀廠が入り込んで陰謀強盗 軍東路第二隊最級安室、梅田、占の

郷本郷を完全 人立一丁 臣 日から祭朝末明一縣方面に使入の計畫らしい

脈を間始して東平に

金山好匪團

各屋の電話線は悪く駅 に使入せりさ、関に駅 に使入せりさ、関に駅 に使入せりさ、関に駅

の一願はこれに合流すべく際に酒「懐親は一切不明であった惟入せりを降き二十二日朝法 各風の電話線は悉く、内に惟入せりを降き二十二日朝法 各風の電話線は悉く

匪賊から一變したか

撫順附近に出没類り

日

警備策協議

各機關聯合萬全を期す

遂河の解氷近く

般しまけられつまい語

急報遅く空しく强盗を逃して

地團駄踏む鞍山署

は犯行に先たち電話線を切断 響中川別事一行に蝦道北で逮捕さした に 一次八とたさころを割行中の無験した に表示したさころを割行中の無験

天下御免

が取締りた行つてあるが後等のさい取締りた行つてあるが後等のさ きつられ如何にもまこさしやかに 名前 さ金板を出時日に書 田瀬に第二區分局を配きした反前にはお附着の口田田田間の水上駅郷を 接助な都要するさ、尚本局は 主人らを縛して 十圓を强奪

日五

【無論】三陸地方第次表出金さ

新臺子居留

具、脚帽及び靴を勝手

一番に思ってこれを担難

Ξ

问情押賣橫行

して圖太い

これも滿洲景氣の一餘波か

奉天署で嚴重に取締

東に道路外に避ければならず、東を乗入れてゐるに過ぎない。 車を乗入れてゐるに過ぎない。

自動車道路の計畫

(四)

むつかり

安東大孤山莊河城子疃間

川魚行商人に

化け込む馬賊

手柄を擧げた鞍山

公主領の

公費

裝飾

古城子探院所覧地野竹次郎(『二方』【夏天】『天阿片真賞支蔵長には」く至極公平であつた「撫順」連順衛生町四丁目一ノ二」「「「一」」「全世間」(一)「一」として「一」」として各員資務等に

に持ち逃げ 雨具を勝手

満鐵線を横斷し

逃走專らの田英軍

警備隊の追及いより

\激しく

末路いまや全く近り







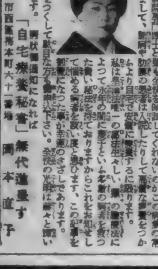




あつまる同情

美談の敷々も添

方の電災に対し路 5三般地方電災害の配力の電災に対し路 5三般地方電災害の配ったりを指する野災に同じと見る



看心地の良い







図民主義情操の缺如

左右雨翼共満行頭大し蓋者た響勝せしむるここが灰々惹起し、肺途は真心これが實行をなさしめる。 でいか 質行をなさしめる

全國に第一**聲** 

終末に近き華や

図運進展に<br />
努めよ

松平頼壽伯久し振りの熱辯

貴族院本會議四十

院を通過の

人様界道 結果を會一致可決同三十分監督 通加家 の三案一播表題さなし評論保決の

年度豫算

衆議院本會議

· 新親公債 昭和八年度公債養石樣定額

總額廿三億九百餘萬

本日業等進行、登音適告に對了

佐藤全權着壽 庫立てなる 恩給法案或可決

五時五十七分散會

代表のこさいので取扱

委員會脫退國同議會振肅

貴族院委員會にて

委曲奏上

東京二十四日登 衆議院の登録で再記書に附らた結果、同会 会議で再記書に附らた結果、同会 会議で再記書に附らた結果、同会 は成正報は二十四日登 衆議院の登録

醫師法改正案

理案通過

作相祭臻中心に

四國協定に

小國側反對態度

聯盟軍縮一般委員會

號(木日發賣

満鐵増資法案の

質問論陣

地東の方は。一小・大学合せて 所りませうか 北島政府委員 郷州の総 北島政府委員 郷州の総

のであるから、限りに譲ら土地人民を統治する能力がながら、

差別を撤して

匪化苦力を嚴戒

純良な出稼農民歡迎

すらり

満鐵の増資案

委員會の秘密會成功

粃

粮

知る可きである。 技職によりて、以前の申合せに 関に始めかち内約があつたのを 関に始めから内約があつたのを

低金利は不可避

藏券日步六厘五

三百萬元

六原五毛さ近承線に見る飲物さ次 てあるがこれに動する場では可なりかられる大蔵食護第一飯園は日歩 め金融方面では可なりからなった。

舊制を徹底整 郵便貯金

王道國家を護る

兵士を州内に募る

國軍の中堅を養成

に放在してゐるこれ等を集團と「頼の徒が多かつたほの何等の統律」
新展演別時では个回これ等不良の「か彫り満州國家の実際さして名賞」「陳海軍史徒から帰せて非処でちその「朝に近い終」萬のもの「数東北戦中には帰願した土脈や無」しなく素質ら頗る低下してゐたが「分子を確決する主共に概念の敬正「清洲國軍の中戦人幅さしなるちその「朝に近い終」萬のもの「数東北戦中には帰願した土脈や無」しなく素質ら頗る低下してゐたが「分子を確決する主共に概念の敬正「清洲國軍の中戦人幅さしなる。

に土地買收に着手 処近郊に

ぜひ一度お試し下さい一電大大四八 國譽味曾 司



滿博縺れ

岡村副長入京

大豆强保合

日

七十四の老人

語學校を卒業

# 回震災義捐金 に手交す

# 三日本社東京支社を經て 丹羽長官厚く感謝

は影楽を言に内容は丹沙社会は現でななで、右の義振をか手交らた、丹沙泉館は本紙鑑賞者や北地方、北神道の一部東次都災民に對する第二回義指金三千個は二十三日朝戦能行を終て

またい、山本内帯大臣も大甕等んで居りました。 一般 近分 配の 手 綾 を と 自 ま したが、 ま た 三 千 圓 頂 載・元日の 三 千 圓 は 直 ちに 罹災 地 に 接 送分 配の 手 綾 を と 自 ま したが、 ま た 三 千 圓 頂 載・元日の 三 千 圓 は 直 ちに 罹災 地 に 接 送 分配の 手 綾 を と 自 ま したが、 また 三 千 圓 頂 載・元日の 三 千 圓 は 直 ちに 罹災 地 に 接 送 分配の 手 綾 を と ら ま し ま し た が 、 また 三 千 圓 頂 載・元日の 三 千 圓 は 直 ちに 罹災 地 に 接 送 分配の 手 綾 を と 自 ま し た が、 また 三 千 圓 頂 載・元日の 三 千 圓 は 直 ちに 罹災 地 に 接 送 分配の 手 綾 を と 自 ま し た が、 また 三 千 圓 頂 載・元日の 三 千 圓 は 直 ち に 罹災 地 に 接 送 分配の 手 綾 を と 自 ま し た が 、 また 三 千 圓 頂 載・元日 の 三 千 圓 は 直 ち に 罹災 地 に 接 送 分配 の 手 綾 を と 自 ま し た が 、 また 三 千 圓 頂 載・元日 の 三 千 圓 は 直 ち に 罹災 地 に 接 送 分配 の 手 綾 を と 自 ま し た が 、 また 三 千 圓 頂 載・

元氣篤學、青年を凌ぐ 新護士の岳父 加藤源次郎翁

氏その人である、端の水楽式の前後たる二十三日後、野學校を訪れると、間内校長まつ出て来て 一一部から出て来た、曲つた腰から出て来た、曲つた腰か

午前十一時十八分東京都海野京政 照宮樣御歸京

にした大阪機能に内地大連網路に

ではこれを認念するため表も二十一日と回認念大選集がを開催してはこれを認念するため表も二十一日と回認念大選集がを開催して、米會者三千名に達し続る際況であった 建國記念の 大運動會開催 平和郷の承徳で

次那翁) 絢爛 の春に競ふ

大阪商船更に二隻を増置して 豪華版 旅客を惱殺サービ

連続版上の豪楽版を寛頂せんこす。

お目見得する

験的就がさ の間 器器

但しこれは一寸



全満鮮極東軟式野球大會工澤のアメリカンボール

使川球・・・・ラッキ

東州大會

球

電二二二三七

球

用

滿

各地野球大會

山東方面の支那人 續々ごながれ込む 今秋十月に 球 用

洋服なら 型は皆樣のキット 御氣に召す

アメリカン

ゼントルマン

大

111

通洋

服店

球用具 陸上競技用品 東京玉澤運動具店

庭

なつめて御座戦に行

公文書僞造行使詐欺應 被告の奇怪な

王道政治に

神が で 大連市二集町四三 ・ 大連市二集町四三

杉箱 桐箱

Off

憧れて問島へ

鼻に罪あり

解氷近し

んは、駅の前さ

品味調ねらなはてくな

眞白いうなぎ

三の補正

味焼 京本場の 海の 界各 國 酒 類 各 華北時局餘間公口次間〉◆第4卷2號出來◆上海反戰大會《新野治學》 地名産 普普 四二一二 八五一二 〇〇〇〇 滿洲評論社 經 食 料品品 店 幸田武雄

二十五日。 一三三一一一 劉研爾 動圖屬圖 五三五六五八五六 十十十十十十十十 经終終終終終終終終

多眠よりさめた<br /> 要人暗殺を企らみ 多數の學生を放つ

入連鴻業公 連逢坂町

手藝品展覽會(各滿鹼家事講習所主催で)

の通知に属する機能に参認者に施し動物助質をなし得動機能質に於て行ばれるとさなつな常機線、機能、現場、対して内の各議機等等熱質所の手機自民職會は今年はその第十

经西田內科 捐者芳名

果海岸大震災

てれ事を何れと態襲せらめて感だ、戦事方職に使入せらい魔道が日の無禁を撃めんさ日 浦 要 人 の 暗殺を認出され 都 織 梅は 目 下風 城 縣千 山窟に 潜

對局者の威想

日

福牌軍手與

111

のものば、された何

(141)

2 遊

ARBOREN .

くて效果第

殖器障

Military の学見阪京

其里書學

Ξ = 等 322 693 495 101 537 149 360 964 138 888 叉は 金 又は ラ 高 又は 一世圓 ボ チ 上金 等 也引割 夕 ブ 音 五.客 华打 個 台 組 偶 組

●すで通共組各てベす上以●

林社

近

藤

利



品は一、二、三等とも御希望の品拜承の上御り當籤番號を决定いたしました。 依つて景景な立合の下に嚴正抽籤の結果 上記の通規定に從へ 廣告取次社員及び所轄警察署 て御諒承を願ひます 規定により養に御送附書の郵便切手 し上げます の御希望の品拜承の上海 の方々

販賣店各位の熱烈なる脚援助に對し

(入院) 水 海路因 金一三七五钴電 污漆開始 大寒市紀伊町二三三三章

をは

世界的の榮養料 日本で發明せられた 者等に對し直接醫療方法の傍ら榮養補給を目的とするに最も適當且理想的です骨病、百日咳、腺病質、殊に肋膜炎、肺尖加答兒、其他結核性素質を有する病弱退、老衰、神經衰弱、其他特に榮養不良に基く夜盲等の眼病、及佝僂病の如き美味佳香の小球形の菓子狀にして一般榮養不良、扇腸、貧血、産前後、精力減 消化吸收最も良く **愛質腐敗の憂い無き** 捌賽 | 東郷代用語■以下よるも無米市内は二階にても関係し 最新に品切れ等の新は本舗より直送する 東語、和洋、酒・食料品店、練貨店にあり

艦

◎ミツワ石総本舗 丸見屋 商店 薬品報

TO THE PT OF THE

河: 合龜太郎氏の世界的業績

油研究の權威薬

帝國發明協會 發明博覽會 化學工業博覽 化學工業博覽

商 店 

弦

シモデ

連

何處に落着くか

吉林教育費

板挾みの地方事務所

日

を呼ぶ策

断じて閉鎖せぬ

**傳へられる廢止説に關して** 

鐵路局や民會なごが

近く具體案を決定

もに

を本年著取金融の計画を る本年著取金融の計画を か入の大なる期待な受けて で大いに福雲されて唇る

加 数年前除費引換けの参選を来した 開氏の贈言さ本社の画祭如何は他 数年前除費引換けの参選を来した 関氏の贈言さ本社の画祭如何は他 数年前除費引換ける参選を来した 関氏の贈言さ本社の画祭如何は他 数年前除費引換ける参選を来した 関氏の贈言さ本社の画祭如何は他 数年前除費引換ける参選を来した 関氏の贈言さ本社の画祭如何は他 数年前除費引換ける参 四平街取引所は

檢疫所

初乘旅行者

取締規則改正せられ

四月第一回の檢查

**卒業式 本天四小學校** 

スタングート協会 

新學期

新世代代表精治療

小さな感激

大石橋幼稚園滿了

愛兒の健康

分に 譲さを 今こそ 充 で 関見の 健 

黄衣 宝

**党**衣 零 日曜町 三流屋

あま酒

家政婦等

多忙會員至急事 職心看護婦會主 新妻 三 浦 芳 聚樣爾一丁目三四

漢述町二宮崎倫明堂電五九一八

行級店 笔五四三九

派遣

白帆・天帆高級側化粧紙は

見出町二〇田地野千代

\*町ニアーセ \*町ニアーセ \* 左知

電話三九七一番

大学 朝城町川崎 五〇俊海

三河町港内電話八六門礼編戸物へ彫り込み

新古 以二・ド交換、古本高價 名古風東田町 大野屋養護者 名古風東田町 大野屋養護者 名古風東田町 大野屋養護者

黄印

日案内

佐々木洋行

御下賜品

て勝光派に至らんさする天際戦を一多大の希望を抱いて敵々目的地に「年、場へ職い苦痛に打ち勝つ」 午前七時五十分金州養の別車にてに一年、場へ職い苦痛に打ち勝つ 午前七時五十分金州養の別車にて

留學警察官

華々しく鹿島立

二十三日のはごで

來る廿八日金州出発

天照園移民實習生

愈希望の新天地へ

貸付條件を緩和し 可及的廣い範圍に

融通低資の貸付方針

音楽器 音楽器 ルコード できる

子・一大学のオールンデスター

近江町参参三路

着變り漏り物優禮用

3

一切の仕立一襦袢の仕立一

仕事着

髪は手まめに洗ひませう

III

(六)

おお 髪を美しく とさら 春は埃 しなや

女學生の方々も・外で働らく御婦人も・ いな小函人シャンプー て す

家事に動しむ奥様方も

0

きれ

等の 仕立方 トの 仕立方 トの 仕立方 トの 仕立方 トの 仕立方 トの 仕立方 トの 仕立方 號友主 定四婦 價月之



會議で決定

の諸案

近く新京で發表

フイ號初航

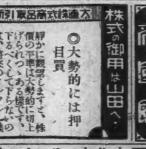
五品市

醫中野

がのきさぬ/ざる、 神治の業信長

計統 報日 査調

れます れます に重の外ない こ思は

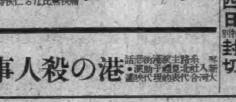


金料の此で書映切封の此・十十六五十十六五日日 渝

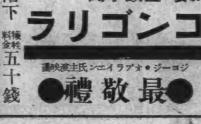


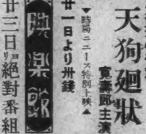
世三日 替二りの 51 京作新切

江戸ツ子 0









B

振山 

日明絕對

世界戦慄関防簫